

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和5年度
----	-------

後期（実績評価）

実施内容

一般介護予防事業の介護予防普及啓発事業におけるいきいき百歳体操の普及啓発や地域介護予防活動支援事業におけるふまねっとサポーター等への支援を通じ、介護サービスや介護予防・生活支援サービス事業の利用を促進することによって要支援状態の重度化を抑止すべき方々を抽出し、ケアプラン点検を積極的に行うなど自立に向けた介護サービスを推進し、介護認定の軽度化が進むよう推進する。

自己評価結果 ○

要支援認定率 (①要支援1・2の第1号被保険者数/第1号被保険者数)

(②要支援1・2の第1号被保険者数/第1号認定者数)

	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 7 年度
目標①（推計）				6.00%	6.50%	6.50%	6.50%
実績①	5.65%	5.52%	5.58%	6.39%	6.29%	6.67%	
実績②	28.3%	27.5%	28.0%	29.3%	30.4%	31.7%	

(実績：介護保険事業状況報告（各年度9月月報））

令和５年度の第１号被保険者に対する要支援１・２の第１号被保険者の割合は目標値を上回り、認定者に対する要支援者の割合も前年度以前と比較して上回っている。

また、令和5年度の実績を3月月報とした場合、実績①が7.72%、実績②が36.2%と一時的なものではなく上昇傾向にあることが確認できる。

課題と対応策

令和5年度の実績は目標値を超えており、活動の成果が表れているものとする。また、介護認定の申請理由を伺うと、病院で医師から高齢なので申請をした方がよいと言われたからなど、必ずしもサービスを必要としての申請ではないケースも見受けられ、要支援者の割合が増加した要因になっていると思われる。今後も地域包括支援センターと連携し、予防に力をいれるとともに、町内事業者と連携を図り、ケアプラン点検を積極的に行うなど、要支援状態・要介護状態の重度化を抑止したいと考える。